

COOP-JOSO News Letter

2019年10月4回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ「JOSO食材でかんたん・おうちゴハン」

自分たちの足下から考え、学びあい、つながりつつ、いのちと暮らしを守り、平和な社会を次の世代に

9/29 取手母親大会「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」

「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」を連帯のスローガンに、女性・子どもの願いや要求を実現するため、草の根から行動する母親運動が、1955年の世界母親大会開催から、各地に広がりました。

58年余りの歩みを経て、茨城県内でも各地で母親大会が開催されています。取手母親大会では、共に歩む団体として、常総生協の取り組みや活動を紹介させて頂き、天笠啓祐氏の記念講演も拝聴させて頂きました。

天笠啓祐氏による記念講演「どうなる私たちの食卓～あぶない食べものはない～」では、10月1日に届け出と販売の制度が始まった、特定の遺伝子を改変する「ゲノム編集」技術を用いた食品の話を行いました。「ゲノム編集」は「GMOフリーゾーン全国交流会in成田」での講演や、2019年7月4回発行のニュースレター掲載でも発信しており、今最も注目される食の問題となっています。

記念講演では、ゲノム編集食品が環境影響評価・食品安全審査・表示の義務がないまま、市場に出回ることによる危険性を学びました。「遺伝子組み換え食品の表示義務によって、不安を抱えた消費者が買い控えたために、売り上げが思うように伸びなかった。この消費落ち込み(失敗)から、ゲノム編集食品の表示を義務付けていない」など、利益のために消費者の安全を脅かされつつあることに危機感を覚えました。また、有機食品には遺伝子組み換えが認められていないが、ゲノム編集ならば遺伝子組み換えとは違うため、有機認定の対象にしようという考えもあるそうです。遺伝子組み換え食品を避けようと、有機食品を選択してきた消費者もお手上げです。さらに、現状ではゲノム編集食品でありながら「遺伝

子組み換えでない」と表示できることにも驚愕しました。

「何を食べてらいいの?」と、当惑する会場の方々に向けて、「1日3回、私たちは食について考える機会と選択する機会があります。素材から調理するなど身近に出来る事で、命を守りましょう」との天笠氏の言葉に共感し勇気をもらいました。

グリホサート

輸入小麦のパンから除草剤！



学校給食のパンを調べたら…

品名	種類	残留濃度 ppm
A コッパパン	輸入小麦、胚芽2割	0.05
B コッパパン	輸入小麦	0.04
C ロールパン	国産小麦	検出せず

農研機構食品分析センター調べ

給食のパンは安全な国産小麦で

輸入小麦は、除草剤「グリホサート」を大量に使用している。この除草剤は、小麦の生育を促進させる一方で、小麦の根を枯らす作用がある。また、除草剤は、小麦の葉や茎に残留し、パンにまで移行する可能性がある。この除草剤は、人間の健康に影響を与える可能性がある。この除草剤は、人間の健康に影響を与える可能性がある。

輸入小麦のパンから除草剤を検出

品名	製造者	残留濃度 ppm
1	健康の会総合食パン	株式会社マルシェ 0.03
2	アムウェイ食パン	山崎パン株式会社 0.04
3	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
4	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
5	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
6	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
7	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
8	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
9	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
10	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
11	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
12	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
13	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04
14	太陽のこころ食パン	山崎パン株式会社 0.04

大会の最後には、この日に配布された「新婦人しんぶん(2019/8/29発行)」の記事が紹介されました。

一面の見出しには「輸入小麦のパンから除草剤(グリホサート)*」と書いてあり、農民連食品分析センターが4月に公開した「食パンのグリホサート残留検査」が掲載されています。名だたるパンメーカーが製造する市販の食パンから、グリホ

サートが検出されており、国産小麦、有機小麦からは検出されていませんでした。

小麦の輸入先であるカナダやアメリカでの、収穫作業の効率を上げるため収穫前に除草剤を散布(プレハーベスト)している事に起因しています。当然のことながら、学校給食のパンでも同様の結果が得られています。韓国・台湾などの学校給食はオーガニック食材使用されている中、日本では栄養バランスに注視し、食の安全性には目を向けられていません。パンの材料を輸入小麦から国産小麦へ変えるなど、自治体への働きかけ次第で変えることができると天笠氏の助言もありました。

自分たちの足下から考え、学びあい、つながりつつ、いのちと暮らしを守り、平和な社会を次の

世代に手渡すために、力をあわせましょうと、互いに誓いあう大会となりました。

常総生協では、ゲノム編集食品の規制と表示を求める署名を集めています。また、組合員の「もっと知りたい、学びたい！」にお応えし、ゲノム編集についての講演会を検討しています。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

(文責:理事長 増本)

*グリホサート(商品名;ラウンドアップ)は2015年国際がん研究機関において、発がん性に関して5段階の上から2番目にリスクが高い「2A=おそらく発がん性がある」と評価され、規制の動きが世界に広がっている除草剤。日本での規制はない。

2019年9月16日 「さようなら原発全国集会」開催報告

○9月16日、東京・代々木公園で「さようなら原発全国集会」(主催・「さようなら原発1千万署名」市民の会)が開催しました。

全国各地から8,000人が参加しました。福島原発事故から8年半がたちますが、いまだ多くの課題を抱え、4万人を越える被災者が苦しい避難生活を続ける中で、「フクシマを忘れない」、「脱原発社会の実現」を掲げて、様々な課題が訴えられました。6名の組合員さんのお手伝いがありました。ご協力ありがとうございました。



○直近の動き

9/16さようなら原発@代々木公園集会、9/19東電刑事裁判 無罪判決、9/29JCO臨界事故20年集会、9/30東電刑事裁判 控訴決定。と原発に関して大きな動きがあった1か月でした。市民の「原発は怖い、もう二度と同じ過ちをしてはいけない」「国土を失う悲しみ、健康被害リスクの高い原発を後世に残したくない」という想いをあざけるような(に反して)、「事故の責任すら事業者に課せようとしない司法」、「再稼働を勧めようとする国」の姿勢があらわになった1か月だったように思います。

○なぜ、生協がこの原発問題に取り組んでいるのか？

常総生協の根底の意識として「食はいのち」という理念を持っています。特別に原発だけに問題意識をもって取り組んでいるわけではありません。「いのち育む食」は安心・安全な社会でないと成り立ちません。生産者が丹精込めて作った「食べもの」があっても、放射能汚染、化学物質にまみれた環境、戦争に行かなければいけなくなるような法律の世の中になってしまうと、自分たちの生活、健康を守れないのです。また、大切な子どもたちのいのちを育てていく事も出来ません。常総生協は「いのち」を大切にしているためにも、地域、社会を変えていく事を、「食べもの」を通して台所や、生産現場から変えていく事を続けて行きます。「原発」はそのすべてを阻害するもので、容認することはできません。生産者・組合員ともにこの問題に取り組んでいきたいです。根底にある理念を実現するために、生産者、組合員の関係づくりや、協同の力が必要になります。ご協力よろしくお願ひします。

○今回の集会では、常総生協で東海第二原発訴訟と、関東子ども健康調査支援基金の事務局を担っている木本さんが登壇して、8,000人に向けてスピーチをしました。

こんにちは！木本と申します。私は茨城県守谷市にある常総生協で、東海第二原発運転差止訴訟原告団の事務局と、関東子ども健康調査支援基金の事務局をしています。「関東子ども健康調査支援基金」というのは、関東の汚染地域の子どもの甲状腺エコー検査をしている市民団体です。

9年前、原発とは無縁と思っていた私が、この2つの団体に関わることになったのは、福島原発事故があったからです。

福島第一原発が放出した放射性物質は、放射性プルームとなって、200km離れた茨城県南部から千葉県東葛地域にも汚染地域を作りました。私は汚染地域となった千葉県松戸市の住民で、事故当時は2歳と9歳の子育て中でした。3/23に浄水場の水から基準値を超える放射性ヨウ素が検出され、「乳幼児の飲用を控えるように」との放送を聞いた時、汚染をすぐそばに感じ、母乳検査で、柏市やつくば市のお母さんの母乳から放射性ヨウ素が検出されたとき、被曝は現実のものとなりました。

それから私達母親は、自治体に空間線量や給食の測定を求めたり、公園や学校の除染を求めるなど、放射線への感受性が高いとされる、子どもたちの被曝を低減するための活動をしていきました。常総生協と市民で行った「1キロメッシュの土壤汚染調査」への参加をきっかけに子育て世代の団体が繋がって「放射能から子どもを守ろう関東ネット」ができました。その関東ネットでは仲間と共に国に対して関東の子どもたちの健康調査を何度も求めました。しかし健康調査は福島県に限定されたため、やむなく「関東子ども健康調査支援基金」を立ち上げて、市民の手で甲状腺検査をすることになったという次第です。この市民による検診は今年6年目を迎え、受診者は10,000人を超えました。この「1万」という数は、事故から8年経っても、健康への不安は消えないことを示していると思います。国策によって起きた事故なのに国は手を差し伸べず、市民がここまでしなくてはならないのが原発災害だと思います。私たちは、こんな原発災害は二度と、まっぴらごめんです。

東海第二運転差止訴訟の原告は、266人。地元茨城県の市民、私のような多くの母親、農業、漁業関係者をはじめ、福島の方々と同時に災禍を受け、放射線の被曝を受けた当事者です。原告の居住地は宮城～静岡まで及びます。そして、1999年の東海村JCO臨界事故を経験した当事者も含まれています。

東海第二原発は40年を超える老朽原発です。30km圏内には96万人が住んでいます。150km圏内には首都圏が入る、日本で唯一の首都圏型の原発です。この場所で「二度と同じ過ちは繰り返さないでほしい」「かけがえのないものを再び奪わないでほしい」という思いから2012年7月に東海第二の事業主である日本原子力発電を提訴するに至りました。

この7年間で26回の公判がありました。原告が81の書面を準備して、口頭でも主張してきたのに対し、被告の原電側はわずか12の書面を提出したのみで、口頭で主張したことは1度もありません。そして、そのわずかな原電の書面には「事故によって放射能が住民に到達するなど到底考えられない」などと書かれているのです。この春迎えた3人目の前田裁判長はこの状況を見て、「原告が聞いていることにきちんと答えなさい」と原電側に注意を促しました。これから証人尋問に入るところで、裁判は佳境を迎えています。裁判長は判決を自身が書く意気込みで、結審の日を、来年2020年の5月17日と決めました。判決が出るのはその1年後の2021年の春頃になるということです。注目していただきたいとおもいます。

最後に3日後のお願いです。9/19は、東電刑事裁判の判決を聞きに行きましょう。長い長い列を作って、国民が、世論が、いい加減な判決など許さないことを見せに行きましょう。福島の問題は私達みんなの問題です。どうかよろしく願いいたします。

2019年10月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

10月ゴントの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。親子煮炊き会(試食会)は10/24(木)開催です。

10/9(水)第3回生協まつり実行委員会
10/11(金)水戸市長へ署名提出
10/19(土)歴史を学ぼう～未来のために～
タネが危ない講演会(常総生協)
10/20(日)我孫子産業祭出店
10/30(水)定例理事会
東海村村長へ署名提出

○提携・協同・連帯企画●

10/11(金)NW21品質管理担当者会議
10/12(土)コープ共済業務点検監査(1日目)
ちよこっと稲刈り体験会
10/19(土)コープ共済業務点検監査(2日目)

理事会よもやま通信 第11号

発行 常総生活協同組合理事会
TEL0297-48-4911
FAX0297-45-6675

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

生協まつり実行委員会、始動しました！

秋分の日を過ぎ、秋らしい過ごしやすいやすい陽気の日が増えてきましたね。夏バテから季節を超えて、食欲の秋を満喫しているかたも多いのではないのでしょうか。一方、10月から消費税がアップし、家計への負担が増えるのは必至…。今まで以上に『おうちごはん』がにぎわってきそうな予感がします。

さて、常総生協の秋といえば『常総生協まつり』です。今年は11月2日土曜日に開催します。9月4日から実行委員会がはじまりました。今年のテーマは「JOSO食材でかんたんおうちごはん」です。今年度の常総生協の活動テーマと一緒だ、とお気づきの方もいるかと思えます。毎年、常総生協まつりに特化したテーマを決めて企画・準備していましたが、今年は、一連の流れの中にあるお祭りということを重視し、年間活動テーマをそのまま生協まつりのテーマにしました。

ところで、みなさん、常総生協まつりにいらしたことはありますか？私は土浦地区に住んでいるので「遠いなあ…」と億劫ではじめの数年間に行こうとも思いませんでした。でも、子どもたちに「生協でお祭りがあるんだって」と話すと、お祭り大好きな子どもたちが行きたいと言い出し、重い腰を上げてはじめて参加しました。

子どもたちにとって、お祭りイコール煌びやかな神輿や出店です。でも常総生協まつりにはそれらはありません。親としては退屈しないかちょっと心配でしたが、杞憂でした。たくさん生産者さんのお店や試食、お菓子バラ売り、綿くり体験、豚ももの丸焼きなど生協ならではのコーナーが所せましと数々並んでいて、親の心配をよそに子どもたちは常総生協を楽しんでいました。

昨年は、念願かなって、きずな巻きに参加できました。ながーい太巻きをみんなので一つにするのは好奇心さく裂でした。子どもも大人も一つになって生協のきずなをつないだ貴重な体験でした。今年もきずな巻きは午前午後2回あります！ぜひ集合時間を確認して一緒に楽しみましょう！

また、クイズラリーも開催されます。ラリーを回ってスタンプを集めると抽選で素敵な商品が当たります！ちなみに我が夫は昨年高橋徳治商店の練り物セットが当たりました！

スーパーでの買い物と生協の共同購入との決定的な違いは、商品を実際に見たり食べたりしてから購入できないことです。実際、カタログでいいと思っても、なんとなく躊躇してしまうことってありませんか？生協まつりでは、参加される33の生産者さんに限られますが、実際に商品を手にとって感じるができます。生協まつりで生産者さんと実際にお話しし、商品への思いをうかがいながら買い物をする、なんとなく愛着というものが生まれて、その後の商品選びが楽しくなりました。困るのは、お話をした生産者さんびいきになつてしまうところでしょうか(笑)

最後に経験者から一言。当日は生産者さんや生協職員の皆さんがたくさんのおいしいものを用意してくださっています。エコバック、マイ箸、小銭を手に、お腹を十分にすかせて来ることを心からおすすめします(笑)きつとなにか新たな出会いがあるはずなので、ご予約の合方はずび参加してみてください(中安)

ファンページ“常総生協が好きだー！”をはじめました！

今の理事が集って1年。自分たちで常総生協の奥深さを発信したいと思うようになりました。いろいろなイベントがありますが、前回どんな様子で開催したか分かったほうが参加しやすくないですか？実際にどんなおうちごはんを作った人がいるかわかると晩御飯づくりが楽しくませんか？そんなわけで常総生協本部とは関係なく、組合員目線で発信できるページを作りました！facebook登録の有無に関わらず、パソコンからでもスマホからでもご覧いただけます。ぜひ一度訪問いただき、応援のいいね！をお願いします。



常総生協が好きだー！

常総生協クイズ！

Q.昨年一年間で、一番購入数が多かった商品はどれでしょうか。

1. 鈴木さんの牛乳
2. 八郷の卵
3. 岩瀬さんの豚小間

☞ 答えは左の常総生協ファンページをご覧ください！

『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。